

平成29年度 指定管理業務 評価票

りんくう公園	【指定管理者】 ハートフルりんくう	【指定期間】 平成25年4月1日 ~ 平成30年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
--------	----------------------	----------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)			
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	【実績】 ○にぎわいづくり協議会に参画し、本年度のリレーマラソン等の打合せを行い準備を整えていたが、当日荒天により中止となった。 ○にぎわいづくり研究会に参画し、9/1にりんくうタウン一斉清掃活動を行い、11/9には防災訓練を行い、周辺施設と連携して、公園を含むりんくうタウンの発展に取り組んだ。 ○端午の節句にちなみ、4/23に「兜を折って写真を撮ろう」イベントを開催し、子ども26名の参加があった。 ○7月1日から7月7日まで来園者の願い事を書いた七夕飾りを内海に設置した。 ○10/9に末広公園で行われたスポーツフェスタ泉佐野にスロージョギングの出張講習を行い、46名の参加者があった。 ○10/15りんくうタウンで開催された歩き愛ですに参画し、にぎわいづくりに寄与した。 【自己評価】 ○地元市やりんくうタウン周辺企業と連携し、公園内外での様々な取組みに寄与し、にぎわいづくりに貢献することができた。 ○スロージョギング教室など健康づくりに関するイベントを実施することができた。	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。 ○泉佐野市や近隣に立地する企業との協力体制を強化し、公園内外でのイベント実施の際の相互連携を行っている。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 周辺地域で実施されるイベント等にも積極的に協力しており、地域と連携した活性化への取組みは評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	【実績】 ○イベント情報など公園の情報発信はインターネットやチラシ、ミニコミ誌、園内放送、直接の声掛けなど、様々な媒体を用いて行った。 ○駐車場の満車情報など利用者に大きく関わる情報は、フェイスブックとツイッターでリアルタイムに情報発信を行った。 ○ハートフルゲートや誘導パイプなどのハートフル施設は日々の巡視においてチェックし、異常があれば速やかに対処した。 ○高齢者や障がい者が安全・快適に公園を利用していただけよう、車いすや砂浜用車いすの無料貸し出しを行った。 【自己評価】 ○様々な媒体を用いて情報発信し、一般利用者に広く伝わるよう努めることができた。 ○誰もが平等に公園利用できるよう、適切にハートフル施設を管理することができた。	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。 ○Twitterやfacebook等の情報更新が早く、来園者に効果的な公園PRができています。	A	様々な媒体において、誰もが利用しやすい公園として、PRしていることは評価できる。 引き続き、平等利用の促進に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)		評価 (S~C)		
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。 来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】 ○駐車場が満車時にはツイッター、フェイスブックで情報提供を行った。 ○レゲイベントやりんくう花火大会などあらかじめ第2駐車場の混雑が予測された場合は、タイムレジを使用して臨時出口を設け、誘導員も配置し、スムーズな出庫ができるように努めた。 ○歴史街道推進協議会に協力し総合休憩所3階をスタンプラリーのスタンプ設置箇所とし、公園のPRに努めた。(7/1~10/1) ○7/16総合休憩所1階横にミストを設置し、夏休み期間(8/27まで)の土日祝に稼働させ、来園者に涼を感じてもらった。</p> <p>○来園者数(H29年4月~11月):405,503人で、対前年比98.7%であった。(H28年度は410,881人)</p> <p>(イベント等の実施回数、参加者数) ○主催イベント ・4/23 兜を折って写真を撮ろう 26名 ・5/25 多肉植物の寄せ植え講習 11名 ・6/16 アフタヌーンティーを楽しみませんか 13名 ・8/6 水鉄砲をつくろう 21名 ・8/19 内海の生き物とふれあおう 16名 ・9/15 多肉植物の寄せ植え講習 15名 ・10/19 多肉クリニック 9名 ・11/3 りんくうスポーツフェス 500名 ・11/5 炭火で作るバームクーヘン体験 28名 ・11/24 マーブルドリル① 11名 ・11/25 マーブルドリル② 20名 ・11/27 マーブルドリル③ 18名</p> <p>【自己評価】 ○必要な情報をリアルタイムで伝えられるようツイッターやフェイスブックを活用できた。 ○幅広い年齢層が楽しめる様々なイベントを実施することができた。</p>		A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○歴史街道推進協議会へのスタンプラリーのポイント設置協力や夏期の来園者の熱中症対策としてドライミストの蒸散を行った。</p> <p>○大規模イベント実施時には、事故防止のための駐車場誘導に努めるなど、公園利用者の利便性を高めている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 スタンプラリーのポイント設置協力や夏期のドライミスト設置など、利用者の多様なニーズに対応し、幅広い利用者層に対する利便性向上を高める取組みを行っていることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	<p>収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>						

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】 ○4/29、5/3、5/4の音楽の持込イベントは音の苦情なく開催することができた。 ○他公園での事故情報があった際は、朝礼や回覧等で公園スタッフに周知を図った。 ○7/9石舞台でレゲイベントがあり、事前に看板を設置したりHPで周知を図り、当日は第2駐車場の入り口でチラシを配布し周知を図った。また出庫時の混雑を緩和するため、タイムレジを使用し2箇所から出庫させた。 ○7/16に内海で女兒が溺れ救急車で搬送される案件があり、巡視や園内放送で遊泳禁止の周知を強化した。また内海には注意看板を設置した。 ○7/21にシンボル緑地とシーサイド緑地の間の連絡通路横の草地で火災が発生。夏休みにもはいったことから、ロケット花火等火遊びをしている子どもにより一層注意を払う。 ○9/23に桜広場横の樹林地内で首つり自殺があり。土曜日のため緊急メール及び電話にて岸和田土木に連絡。 ○10/17にシーサイド緑地のトイレでフラッシュバルブ9個が盗まれているのを発見したので警察へ被害届をだすとともに早急に修繕を依頼し10/24に修繕を完了した。 ○毎朝、駐車車両のチェックを行い、前日から駐車している車両があれば車内の様子など異常がないか確認を行った。</p> <p>【自己評価】 ○石舞台での音楽イベントは事前に周辺地域に周知徹底及び駐車場入口においてチラシ配布を行うことにより、苦情なく開催することができた。 ○事件があった際は速やかに土木事務所に報告し、情報共有することができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○トラブルの予防策や発生時の初動体制の整備が進んでおり、来園者の安心安全な公園利用ができています。</p>	A	<p>利用者への注意喚起や注意看板の設置など、トラブルの未然防止を図ったことは評価できる。 引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】 ○草地管理では、りんくう花火大会の前に除草を終えるなど、大規模イベントの開催時期も考慮し、公園利用に支障のないよう除草時期の調整を図った。また、バッタ等の生息に配慮し、シーサイド緑地の北側の一部を刈り残すなど、生物の多様性にも配慮した管理を行った。 ○園路沿いや展望所付近の松の下枝を剪定し、安全確保及び見通しの確保を図った。 ○花海道にパイナップルセージやラムズイヤー、タイムなど香りや手触りを楽しめる植物を補植した。</p> <p>【自己評価】 ○利用状況や目的に応じて、メリハリのある管理を行うことができた。 ○利用者の目線に立った樹木管理を行うことができた。 ○五感で楽しめることを意識した植物管理を行うことができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○イベントの開催時期に合わせた草地管理や、生物との共生を考えた除草の強弱を行うなど、植物管理と生態系の保護の調和を図っている。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。 イベントの開催時期に合わせた草地管理や、生物との共生を考えた除草の実施など、植物管理と生態系の保護の調和を図っている点が評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】 ○繁忙期においては計画回数以上の清掃を適正に実施した。特にゴールデンウィークやお盆の期間はバーベキュー利用が非常に多いとあらかじめ予測できたので清掃回数を増やすなど調整を行い、園内の美化に努めた。(週2回が計画回数であるがゴールデンウィークは9日(4/29~5/7)のうち8日実施した) ○持ち込みイベントの際は主催者にゴミの清掃と持ち帰りを呼びかけ、アンケート調査時には回答のお礼として、クリーンアップをうたったティッシュを手渡すなどゴミの持ち帰りを推進した。</p> <p>【自己評価】 ○BBQの利用が多い繁忙期には計画回数(週2回)以上の清掃を実施し、公園の美化に努めることができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○来園者数を見越した清掃回数の設定と高い美化意識により、来園者の快適な施設利用への対応ができています。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 来園者数を見越した清掃回数の設定と高い美化意識により、来園者の快適な施設利用への対応ができています。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)					
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ○7月26日に防波堤の落書きを発見したので港湾局へ連絡し、消去してもらった。 ○8月23日にマールビーチ海岸にイソシの死骸が打ち上げられたため、港湾局へ連絡し処理してもらった。 ○遊泳している人を発見したときは直接の声掛けや園内放送で注意喚起した。 ○繁忙期の土日祝日はBBQのマナー放送を実施した。</p> <p>【自己評価】 ○海岸管理者である阪南港湾事務所と必要に応じて連携し、協力して海岸部の管理を行うことができた。 ○管理対象外区域(マールビーチ海側)についても、公園エリアであるとの認識を持ち、利用者の安全確保に努めることができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○港湾局への海岸保全施設等の破損の連絡や管理対象外区域の遊泳禁止箇所での巡視対応を行い、公園及び周辺施設利用者の安全確保に努めている。</p>	A	<p>港湾局との調整や遊泳禁止箇所での巡視対応など、公園及び周辺施設利用者の安全確保に努めていることは評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ○8月19日に大阪府立大学と連携してイベント「内海の生き物とふれあおう」を開催し、内海に生息する生き物の観察や捕まえてもらうなどして、海辺の自然と触れ合ってもらった。(16名参加) ○内海の生き物を紹介するポスターを更新して、総合休憩所に展示した。 ○シーサイド緑地の北側の一部で刈残しを行い、バッタ等昆虫に配慮した空間づくりを行い、看板により来園者に周知した。</p> <p>【自己評価】 ○「大阪府生き物とふれあえる都市公園計画」の活用ゾーンとしての内海を大阪府立大学と連携し、継続して調査・管理を行い、活用することができた。 ○昆虫など野生生物に配慮した管理を行い、自然環境の維持・創出に努めることができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○大阪府立大学との生き物触れあいイベントを実施し、植物生物の環境学習に取り組んだ。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 大学と連携した取組みを継続していることは評価でき、今後の継続も期待したい。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】 ○枯れ松6本を伐採処理した。 ○ゴールデンウィークと7/15から9/30までの繁忙期の土日祝日とお盆期間に夜間警備を実施し、夜間の騒音対策、迷惑行為の防止に努めた。 ○四季の泉の噴水と内海の水質検査を実施し、0-157とレジオネラ属菌は確認されなかった。(7/3採水、7/24結果) ○7月から9月の期間、週2回トイレに塩化ベンザルコニウム希釈液を散布し消毒を行った。</p> <p>【自己評価】 ○公園を利用する人全員の安全を確保できるよう、様々な視点から準備・対応を行い、事故・事件の未然防止に取り組むことができた。 ○衛生管理を徹底し、来園者の健康被害の防止を図ることができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○夏期の施設衛生検査の実施と健康被害の防止を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 施設の水質検査や健康被害の防止など、利用者の安全確保に努めたことは評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】 ○4/17(月)午後5時18分泉佐野市、田尻町に暴風・波浪警報が発表されたので非常時体制を配備し閉園措置をとる。 ○6/19(月)大阪府の風水害対策訓練に参加し、情報伝達訓練を行った。 ○6/21(水)午前6時5分に泉佐野市、田尻町に大雨警報、洪水警報が発表されたので非常時体制を配備した。 ○8/7(月)午前4時55分に泉佐野市、田尻町に暴風警報、波浪警報が発表されたので非常時体制を配備し閉鎖措置をとる。 ○9/17(日)午前9時54分に泉佐野市、田尻町に暴風警報、波浪警報が発表されたので閉園措置をとる。 ○10/22(日)午前3時37分に大雨警報が発表されたので非常時体制を配備。12時半に暴風警報が発表されたので閉園措置をとる。 ○10/29(日)9時30分に大雨警報が発表されたので非常時体制を配備。</p> <p>【自己評価】 ○非常時体制には3名以上の人員を確保し、緊急対応がとれる体制を構築し、被害の早期発見、早期対応(閉園措置)を図ることができた。 ○台風接近時には気象のHP等から情報収集し、事前に閉園措置に必要な看板等を準備していたので、警報が発表された際には速やかに対応することができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○気象警報等発令時の体制構築や本府と連携した災害訓練を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。 府の防災訓練への協力など、防災安全意識の向上に努めたことは評価できる。 引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ○知的障がい者1名を継続して雇用。 ○地元シルバー人材センターを積極的に活用し園内業務に従事してもらっている。 ○11/3りんくうスポーツフェスのチラシに「2025万博」のロゴを入れ、府施策の周知に努めた。 ○11/11(土)泉南イオンモールで開催された防災フィールドワークキャラバンに参加し、多肉の寄せ植え講習など来場者に楽しんでいただけるよう努め、公園をPRした。 ○「男女いきいき・元気宣言」の申請を行い、登録事業者となった。 ○「大阪府障がい者サポートカンパニー」の申請を行い、優良企業として登録された。</p> <p>【自己評価】 ○大阪府主催のイベントや施策に積極的に協力することができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○防災フィールドワークキャラバンでは管内府営5公園の情報発信に尽力し、本府各部署の施策への協力や福祉事業にも意欲的に取り組み、高い評価を得ている。</p> <p>○就業支援や府民協働についても本府の政策を理解し、計画どおりの成果が上がった。</p>	A	<p>府の企画に積極的に協力している点や、就労支援事業、環境問題について、府の施策へ協力し、適切な管理運営に努めていることが評価できる。 引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】 ○大阪府のアンケート結果について ・一般的な満足度では、満足、やや満足の回答が全体の96%にのぼった。 ・ホームページやイベントの案内についての満足度が低かった。</p> <p>○指定管理者によるアンケート結果について ・公園スタッフにより10月から11月にかけて来園者110人に対してアンケート調査を実施した。 ・情報入手に関する設問では、情報入手先では41%の人が友人・家族などの口コミ、次いで33%の人がホームページと回答している。関心のある情報としては、47%の人が見頃の花や野鳥などの自然、39%の人がイベント情報と回答している。また、配布物の希望入手先としては、41%の人がスーパー・ショッピングモール等、29%の人が鉄道駅と回答している。 ・総合満足度では、大変満足、満足の回答が全体の85%にのぼった。</p> <p>【自己評価】 ・駐車場の入り口やトイレなど、来園者の目につきやすいスポットでイベント案内をするなど、新たな周知方法を試行する。 ・利用状況を踏まえ、萩の休憩所売店の営業日数の見直しやケータリングカー導入等を検討する。 ・車いすの無料貸し出しサービスや、総合休憩所にある授乳室の利用促進を図るためのPRに努める。 ・公園施設の魅力やポテンシャルをHP等で情報発信し、コラボ企画や外国人向けのイベントの充実を図る。</p>	S	<p>一般的な満足度の評価が「1.6」と高く、各項目においても数値が水準ないしそれ以上となっており、高い満足度を示す結果が得られた。</p> <p>○とりわけ、植物管理が行き届いていると評価する声が多く寄せられ、来園者が気軽に楽しめる多肉植物をはじめとする表情豊かな花壇の華やきがリピーターの拡大に繋がる結果が出た。</p> <p>○近隣の商業施設の利用客の回遊性を高めるため、設備の更新や公園PRに創意工夫を凝らして新たな来園者を積極的に呼び込む姿勢は非常に高く評価できる。</p>	S	<p>全体に高い評価を得ている。適切な管理運営が行われていると評価できる。樹木管理・職員の対応等で特に満足度が高い。引き続き、創意工夫を凝らした公園PRなど、良好な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】 ○ボランティアに関する設問で、興味のあるボランティア活動として清掃(クリーンボランティア)が最も多く、より清掃活動がしやすいように、火バサミ・ゴミ袋の提供のほか、集めたゴミ袋は現地にまとめて置いてもらいそれを公園スタッフが回収する方法をとった。</p> <p>【自己評価】 ○清掃ボランティアを気軽にしていただける環境づくりをすることができた。</p>	A	<p>ボランティア活動の成果と持続安定的な活動支援を図るため、用具の充実と活動支援体制を構築し、ボランティア活動の輪を拡げる取り組みを行った。</p>	A	<p>ボランティア活動等の安定的な活動支援を図るための取り組みが評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】 ○多肉植物の寄せ植えを大泉緑地花と緑の相談所に出張展示し、りんくう公園をPRした。(6月4日から7月3日) ○8/25泉佐野市の生涯学習センターへ多肉の寄せ植えの出張講習を行い、34名の参加者があった。 ○10/9、泉佐野市が主催するスポーツイベント「第5回スポーツフェスタ泉佐野」に参画し、「スロージョギング教室」を開催、地元市の健康づくりの取り組みに協力するとともに、りんくう公園をPRした。</p> <p>【自己評価】 ○多肉植物を活用してりんくう公園の魅力を高め、PRに努めることができた。 ○多肉の寄せ植え講習は常に新しいアイデアで新しい寄せ植えを作り、同じ参加者でも毎年楽しめるよう工夫することができた。 ○公園内にとどまらず、公園外においても積極的に活動を展開し、地域に貢献することでりんくう公園を広くアピールすることができた。</p>	S	<p>○とりわけ、多肉植物の花壇リニューアルや育て方講習会の開催し、イベントの拡大による公園利用の活性化を図った。</p> <p>○また、大泉緑地「花と緑の相談所」への多肉植物の出張展示などを実施し、多肉植物の新たなファンの掘り起しと園外での公園PRに積極的に取り組む姿勢は非常に高く評価できる。</p>	S	<p>イベント開催、広報活動などにより本公園の認知を高め、公園外においても、公園の魅力を伝える事業に積極的に取り組んでいる点が高く評価できる。 今後とも、積極的な取り組みを期待する。</p>
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】 ○収入・支出とも計画通りに推移している。</p> <p>【自己評価】 ○管理レベル、管理回数は維持しながら、概ね当初の計画通り予算執行できる見込みである。</p>	A	<p>事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。</p>	A	<p>ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。</p>
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】 ○管理体制計画にそった管理体制を構築した。 ○繁忙期やイベント時など柔軟に人員を増員した。</p> <p>【自己評価】 ○来園者が快適に安心して公園を利用できるよう運営管理を行うことができた。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実行した。</p>	A	—

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ○一級造園施工管理技士を一名配置した。 ○電気主任技術者を保持する(一財)関西電気保安協会へ業務委託した。 ○必置ではないが、より良い公園管理が行えるよう公園管理運営士を1名配置した。 【自己評価】 ○必要な有資格者を適切に配置できた。	A	必置義務者のほか、公園管理運営士を配置して管理運営の効率化を図っていた。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。 (外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ○朝礼等で他公園での事故案件の報告や注意喚起を行っている。業者に対しても刈払機使用の際、石はねに注意し、安全作業を心掛けるよう指導している。 ○今年度から採用した公園スタッフ1名に刈払講習を受講させた。 【自己評価】 ○事故や従業員のけが無く管理運営できている。	A	安全衛生管理の計画と活動を体系的に実施し、刈払機取扱作業への安全衛生教育を適切に行っており、事故防止への取り組みができていた。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 ○全構成団体において経営状況に特に問題なし。 【自己評価】 ○指定管理者の継続に影響は無く予定通りである。	A	法人全体の経営状況に大きな変化はなく、財務諸表から安定した指定管理業務ができています。	A	財政状態はおおむね良好であるが、直近期の営業キャッシュフローがマイナスである構成団体がある。